

※世帯コード	※個人コード

※2名以上の申込みで入園日が異なる場合は用紙を分けてください

令和 9 年度 保育園等入園申込書（兼保育児童台帳）		令和 年 月 日
【住所】		
多気町長様	【代表保護者氏名】	
[主な連絡先となる方の児童との続柄:]…代表保護者以外も可		
保育園等への入園について次のとおり申込みます。 【主な連絡先】 電話()		

区分	ふりがな氏名	生年月日	年齢4/1時点	性別	保育の実施を希望する期間	他園からの転園ですか (転入に伴う申込は必ず記入)				
入園時点の家庭の状況 (保護者は単身赴任等の別居含む)	入園申込み児童	R		男・女	R 年 月 日 入園～ R 年 月 日まで・卒園まで	はい・いいえ 前の園:				
		R		男・女	□ 入園日同上 R 年 月 日まで・卒園まで	はい・いいえ 前の園:				
		R		男・女	□ 入園日同上 R 年 月 日まで・卒園まで	はい・いいえ 前の園:				
	保護者	ふりがな氏名	入園児童との続柄	生年月日	年齢4/1時点	性別	職業	勤務先名・学校名・園名	児童との同居状況	該当するものに○
				S・H		男・女		()	同居・別居	右面に保育理由の詳細を記入⇒
				S・H		男・女		()	同居・別居	右面に保育理由の詳細を記入⇒
他の世帯員(敷地内同居も含む)				T・S・H・R		男・女		()	被傭・自営主・自営協力・内職 疾病・障がい・看護介護 就学・求職・65歳以上・他	
				T・S・H・R		男・女		()	被傭・自営主・自営協力・内職 疾病・障がい・看護介護 就学・求職・65歳以上・他	
			T・S・H・R		男・女		()	被傭・自営主・自営協力・内職 疾病・障がい・看護介護 就学・求職・65歳以上・他		
			T・S・H・R		男・女		()	被傭・自営主・自営協力・内職 疾病・障がい・看護介護 就学・求職・65歳以上・他		

0～2歳児の申込みは、学生のきょうだいを除く65歳未満の成人の同居親族の分も就労証明書等が必要です。

入園の理由に○	1 保護者等が、居宅外で労働するので子どもの保育ができない。	特殊事情			
	2 保護者等が、子どもと離れて日常の家事以外の仕事をするので保育ができない。	利用予定時間	時 分 ～ 時 分まで		
	3 母が、妊娠中または出産後間がないため子どもの保育ができない。	土曜保育の希望	なし・未定・あり→(8:30-16:30以内・早朝あり・延長あり) 頻度:()		
	4 保護者等が、疾病または障がいがあり子どもの保育ができない。	入園希望 保育園等	第一希望	保育園 こども園	希望理由
			第二希望	保育園 こども園	希望理由
			第三希望	保育園 こども園	希望理由
	5 疾病または障がいがある親族の看護・介護のため子どもの保育ができない。	祖父母の状況（敷地内含む同居の祖父母は「他の世帯員」に記入） ※保護者がひとり親の場合は父方・母方いずれか記入			
	6 居住する家を失いまた破損したことによりそれを復旧するため子どもの保育ができない。	父方	祖父の状況	三重県外・県内・多気町内・同居・不在	
			祖母の状況	三重県外・県内・多気町内・同居・不在	
	7 1～6以外の理由で子どもの保育が必要な場合その理由。 ()	母方	祖父の状況	三重県外・県内・多気町内・同居・不在	
祖母の状況			三重県外・県内・多気町内・同居・不在		
8 [年少児以上公立]保育理由に該当しないため1号認定での入園(教育部門)を希望する					
承諾書	保育料算定に必要な世帯の課税台帳及び関係資料の閲覧を承諾します。 氏名				

家庭の状況											
区分		あてはまるものに○↓	就労等の実態								
母の状況 (父子世帯は父)	就労	被傭	日数・時間は就労証明書のとおりに		育休等復帰:			年	月	日 予定	
		自営	自営中心者・協力者		日数・時間は就労証明書のとおりに※法人以外は開業届又は最新の確定申告書の写しを添付						
		内職	日数・時間は就労証明書のとおりに								
	その他	疾病	退院予定		年	月	日	※診断書添付			
			常時臥床・安静		年	月	まで	・ その他自宅療養 ※診断書添付			
		求職	就職決定		年	月	日	週	時間就労見込み ・ 就職希望 ※証明書あれば		
		妊娠・出産	出産予定		年	月	日				
		障がい	身体(障がい部位:			・	級	療育 (A・B)		精神 (級)	
		看護介護	【入院者】1日		時間 / 週	日	退院予定		年	月	日 ※診断書等添付
			【臥床者】1日		時間 / 週	日	【その他付添】1日		時間 / 週	日 ※診断書等添付	
	就学	卒業予定		年	月	日	※在学証明添付				
	家事のみに従事 → 就職希望がない場合は1号認定(教育部門)をお申し込みください(3歳年少児以上)										
父の状況 (父子世帯除く)	就労	被傭	日数・時間は就労証明書のとおりに		育休等復帰:			年	月	日 予定	
		自営	自営中心者・協力者		日数・時間は就労証明書のとおりに※法人以外は開業届又は最新の確定申告書の写しを添付						
		内職	日数・時間は就労証明書のとおりに								
	その他	疾病	退院予定		年	月	日	※診断書添付			
			常時臥床・安静		年	月	まで	・ その他自宅療養 ※診断書添付			
		求職	就職決定		年	月	日	週	時間就労見込み ・ 就職希望 ※証明書あれば		
		障がい	身体(障がい部位:			・	級)	療育 (A・B)		精神 (級)	
		看護介護	【入院者】1日		時間 / 週	日	退院予定		年	月	日 ※診断書等添付
			【臥床者】1日		時間 / 週	日	【その他付添】1日		時間 / 週	日 ※診断書等添付	
		就学	卒業予定		年	月	日	※在学証明添付			
	家事のみに従事 → 就職希望がない場合は1号認定(教育部門)をお申し込みください(3歳年少児以上)										
	農 業 ・ 漁 業 ・ 商 工 業 ・ 内 職 の 内 容 状 況										
氏 名		生産物・販売物・材料仕入先		規模(作付面積)		氏 名		生産物・販売物・材料仕入先		規模(作付面積)	
										合計	
										調整	
										総合計	

* 記入不要

入園申込の承諾	保育の実施の要否	保育の実施期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日		提出書類	1 就労証明書	済・未済
	要 否(理由)	保育の実施基準の番号	両親等 : () : ()			2 就職決定証明書	済・未済
		入園保育園	保育園・こども園			3 の診断書	済・未済
		保育の実施の解除の年月日				4 その他()	済・未済
		解除理由					
備考							

保育園等入園申込みにあたって

お子さんの保育園・こども園（保育部分）の入園を希望される方は、次により申込手続をしてください。

◎ 2・3号認定で保育園等に入園できる資格

保育園等は家庭で保育ができない乳幼児を預かり、年齢に応じて保育する児童福祉施設です。

したがって、次のような場合（保育の実施基準）の児童は入園することができます。

保育園等への入園承諾は、児童の保護者のいずれもが次の各号のいずれかに該当することにより、当該児童を保育することができないと認められる場合であって、かつ同居の親族その他の者が当該児童を保育することができないと認められる場合に行うものとする。

- (1) 居宅外で労働することを常態としていること。
- (2) 居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
- (3) 妊娠中であるか又は出産後間がないこと。（産前8週、産後8週）
- (4) 疾病にかかり、もしくは負傷し、又は精神もしくは身体に障がいを持っていること。
- (5) 長期にわたり疾病の状態にあるか又は精神もしくは身体に障がいをする同居の親族を常時介護している。
- (6) 震災、風水害、火災その他の災害の復旧にあたっていること。
- (7) 町長が認める前各号に類する状態にあること。

◎ 保育園等入園申込書記入上の注意

この申込書は、保護者が次の点に注意し、記入のうえ役場（保育園等）へ提出してください。

なお、同一家族から2人以上の児童が同時に入園申込みし、入園日が異なる場合は、それぞれの児童ごとに1枚ずつ記入してください。

- 1、記入は事実にもとづき正確に太枠線内の記入事項をもれなく書いてください。

※記入不要 の欄は記入しないでください。

- 2、この申込書には必ず次の書類を添えてください。

イ、就労証明書（保護者および敷地内を含む同居の65歳未満の祖父母等）

ロ、診断書（保護者の疾病、看護、介護が保育の理由であるとき）

ハ、その他保育の必要な理由を証明する書類（理由に応じて）

◎ 申込書記入要領

1、申込年月日

申込書を役場（保育園等）へ提出する日を記入してください。

2、保育の実施を希望する期間、他園からの転園

保育の実施を希望する期間は、小学校就学始期に達するまでの、入園の理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入してください。

他園からの転園については町外からの転入に伴うお申込みの場合は必ず記入してください。

3、入園児童の家庭の状況（保護者、世帯員）

単身赴任等の保護者、敷地内同居を含む申込児童の家庭の全員について記入してください。

申込児童との続柄は…例 父、母、祖母、叔父、姉等と記入してください。

職業例：会社員、自営業、農業、等 勤務先例：〇〇〇工業（株）、〇〇商店 等

4、入園の理由

該当する番号を○でかこんでください。

5、特殊事情、利用予定時間、土曜保育の希望

特殊事情は児童の言語の発達状況や成育上のことについて今後保育する上で必要となることがあれば記入してください。

利用予定時間と土曜保育の希望は申込み時点での利用見込みを記入してください。

利用予定時間と土曜保育の希望は「すこやかひょう」の内容と合わせてください。

利用予定時間は「教育・保育給付認定申請書」の短時間・標準時間の申請内容と合わせてください。

6、家庭の状況（就労等の実態）

各欄ごとに該当する箇所を○印で囲み、該当箇所に応じて欄の右側もご記入ください。

例…被傭 育休等復帰： 令和 00 年 00 月 00 日 予定 ※被傭…雇われていること

例…退院予定（令和 00 年 00 月 00 日）、身体（障害部位：肢体・2 級）。

7、農林、漁業、商工業、内職の内容状況 （2・3 号認定の方のみ記入）

申請児童を除く家庭の状況において、農業、林業、漁業、商業、工業、内職、を営んでいる者の氏名とその仕事の内容を、又、どれだけの規模で営んでいるかを記入してください。

例…山口花子 米作と養鶏 米は 1 町、養鶏は 1000 羽

◎・家庭で保育が必要な程度、保育園の定員に余裕がないときは、入園できない場合があります。

・保育園への入園理由によっては、保育の実施期間の希望に添えない場合があります。あらかじめご承知ください。